

東北大会・全国大会での活躍を誓う

陸上部と柔道部が表敬訪問

中里中と小泊中の陸上部9名と中里中柔道部5名が7月14日(日)から7月15日(月)に行われた県中学校体育大会で優秀な成績を収め、東北大会・全国大会への出場を決めたことを7月18日(木)に町長に報告しました。

町長は「新聞で結果が出るたびに皆さんの活躍を見ている。町民の代表という気持ちで精いっぱい活躍してきてほしい」とエールを送りました。



各地域の存続のため

新たに薄市上地区に兼任集落支援員設置



人口が半数以下になっても地域の暮らしを守っていくため、町内会の役員などが集落支援員を兼ねる「兼任集落支援員」に新たに薄市上地区が加わり、下山洋樹さんに委嘱状が交付されました。

今年度は中里22地区、小泊8地区の計30地区に配置されることとなりました。

任期は令和6年8月1日から令和7年3月31日までで、年度単位の委嘱となります。

いつまでも現役で働いていくために

生涯現役いきいき事業が開催される

高齢者の雇用創出を促すことで、人口減少に伴う労働力不足の解消を図る中泊町生涯現役いきいき活躍プロジェクト協議会が8月4日(日)に中泊さかなプロダクツ協議会の協力のもと、お仕事体験セミナー「おさかな加工 IN こどもり」を開催しました。

セミナーでは、実際にメバルをさばいたり、急速冷凍を行ったりしました。

(お問合せ)

中泊町生涯現役いきいき活躍

プロジェクト協議会事務局

TEL 080-1664-6641



再生可能エネルギー

学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校の生徒が、当町の取り組みを学ぶ

生徒数日本最大のオンライン高校『学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校』の生徒18名が当町を訪れ、8月18日(日)から20日(火)の3日間で宮越家離れ・庭園や尾別地区で稼働している中里風力発電所などを見学し、再生可能エネルギーとの地域共生や脱炭素社会実現に向けた取り組みなどを学びました。

19日には役場を訪問し、町長から当町が取り組んでいる事業の説明や脱炭素を切り口とした将来のまちづくり戦略などの説明を受けました。

参加した生徒からは、「いろいろな再生可能エネルギーがあるが、中泊町は風力発電が最も有効で、なぜ推進するのか理由が分かった」、「再生可能エネルギーは環境に良いだけではなくさまざまなメリットがあることが分かり、とても勉強になった」などさまざまな意見が出されました。



元気に長生き

佐井川ツカさんが100歳顕彰



佐井川ツカさんが、8月11日(日)に入所先のグループホーム宝森で100歳の誕生日を迎え、町から顕彰状が贈られました。

佐井川さんは、近隣の女性に機械編みを指導したそうです。趣味は読書や折り紙、現在も受け答えもしっかりしており、元気に過ごしています。

顕彰状を受け取った佐井川さんは、親族と施設のスタッフから祝福され、「皆さんに祝ってもらい、うれしい」と満面の笑顔を浮かべていました。

たくさんの町民で大盛り上がり

派立夏まつりを開催

8月20日(火)、派立下町内会が中心となり近隣の町内会と共催による、中里派立夏まつりが総合福祉健康センター湯らば一く駐車場で開催されました。

ラムネ早飲み対決やカラオケ大会、ビンゴ大会など様々な催しで大いに賑わっていました。

また、派立下町内会ではコミュニティ助成事業を活用し、夏まつりの備品を整備しました。

○整備内容…テント、テーブル、イス、やぐら、提灯、提灯用電源ケーブル

○コミュニティ助成事業とは…一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備などに対して、宝くじの受託事業収入を財源とした助成を行うものです。地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っています。

